

五	四	三	二	一	○
方 募 法 入 決 定 の	發 行 方 法	用 振 替 法 の 適	の 法 律 行 項 及 び 根 そ 抠	發 号 行 称 及 び 記	平 行 成 条 二 十 九 年 九 次 年 四 月 十 一 日 と お り 告 告 示 等 第 百 三 十 三 号
価一を場で競争う札価振の以律社第第年別十財一利 格国定特あ争入。へ格替適下(平成十三年法)債六一法会四政回付 競債め別つ入札に以を機用「振替法」(昭和二十一年法)十項律計号法 争市る参て札発によ下競関を振替法 入場も加、と行「争は受け法」(昭和二十二年法)第十二年 札特の者財同一と行「価に日け法」(昭和二十三年法)四十す四和 発別にご務時といと行「格付本ける」と(昭和二十三年法)第十四年 行參よと大にう(以下「法律第十七号」)と 「加るに臣行う。と者発応がわい。行募各れ及札わすし。 い・行募各れ及札わすし。 う第へ限國るび価一れる、の 。I以度債入価格とる。そ 非下額市札格競い入の定					

六

口
行争非者特国
入価・別債
札格第参市
発競I加場

イ
入価 行争非者特国
札格行 入価・別債
発競 札格第参市
行争額 発競I加場

でた条特六額た条億て基同百国項計億つ定う額
千利第別十で利第八はづ法六債のに九いにち面
九付一會五一付一千、き第十に規関千て基、金
百国項計万兆国項百額發四三つ定すニはづ財額
二債のに円五債の十面行十億いにる百、き政で
十に規關千に規万金し七二て基法八額發法二
八つ定す八つ定円額た条千はづ律十面行第兆
億いにる百いに、で利第三、き第五金し四二
円て基法七て基同四付一百額發四万額た条千
、づ律十はづ法千国項四面行十円で利第六
額き第五、き第七債の十金し六、九付一十
面發四億額發六百に規万額た条特百国項五
金行十二面行十十つ定円で利第別十債の億
額し七百金し二二いに、五付一會三に規円

込募各当も各
み限國ての申
の度債るか込
応額市。らみ
募の場その
額範特のう
を圃別応ち
割内參募応
りに加額募
当お者を価
ていご順格
るてと次の
。各の割高
申応りい

十 十 三 二	十 十 口 イ 一	九 八 發 振 額 最 替 低 行 争 非 者 特 国 入 価 發 行 行 札 格 債 別 債 市 参 競 価 格 日 位 金 發 競 I 加 場 行 争 額	七 口 イ 払 込 金 額 競 市 参 札 格 債 別 債 債 札 格 市 参 競 競 格 日 額 千 七 二 兆 万 九 百 四 千 三 百 九 億 八 億 万 四 十 四 百 万 円 十 二
る定り払募年	額以額	平す額の振	五
。す算込入○	面上面	成るの記替	万
る出金決・	金の金	二。整載法	円
期し額定一	額そ額	十数又の	
日たにのパ	百れ百	九倍は規	
に金加通ト	円ぞ円	年の記定	
払額え知セ	にれに	三金録に	
いを、をン	つのつ	月額はよ	
込第次受ト	き応き	二に、る	
む二のけ	百募百	十よ最振	
も十算た	一価一	一る低替	
の号式者	円格円	日も額口	
とにには	十 六	の面座	
す規よ、	錢 錢	と金簿	

額面金額の総額

$$\frac{1}{100} \times \frac{1}{365}$$

二十九十八十九
八七六十五十四

払者入払元償償後第
込札場利還還の二期
期參所金金期利期
日加支額限子以初
期利子

平財日額平利てを毎
成務本面成子、支年
二十大銀金三をそ払三
臣行額十支の期月
九から百四払日と二
年年う以し十
三通知に三。前、日
月知つ月六各及
二通知をき二月支び
十一受百十間払九
一受け円日に期月
一日た者屬に二
者すお十
るい日

規下は期た期平
額面金額× $\frac{0.1}{100} \times \frac{1}{2}$ 定、が金と成
す次そ銀額し、十
る号の行を
期及翌休支次九
日び営業日払の年
に第業日う算九
つ十日。式月
い六に當に二
て号支だよ十
同に払たしり日
じおうる、算を
。いへと支出支
。て以き払し払